

平成23年第1回防府市議会臨時会会議録（その2）

○平成23年1月19日（水曜日）

○議事日程

平成23年1月19日（水曜日） 午前10時 開議

- 1 開 議
 - 2 会議録署名議員の指名
 - 3 議案第1号 防府市議会の議員の定数を定める条例中改正について
請願第1号 議員定数の削減を行わないよう求める請願書
請願第2号 市民生活第一の市政を求める請願書
(以上議員定数に関する特別委員会委員長報告)
議員定数に関する特別委員会の閉会中の継続審査について
 - 4 議案第2号 平成22年度防府市一般会計補正予算（第12号）
(各常任委員会委員長報告)
 - 5 許可第1号 防府市議会議員の辞職について（追加）
-

○本日の会議に付した事件

目次に記載したとおり

○出席議員（25名）

1番	松村学君	2番	土井章君
3番	山根祐二君	4番	原田洋介君
5番	中林堅造君	6番	斉藤旭君
7番	重川恭年君	8番	青木明夫君
9番	山田耕治君	11番	久保玄爾君
12番	田中健次君	13番	藤本和久君
14番	三原昭治君	15番	木村一彦君
16番	横田和雄君	17番	安藤二郎君
18番	高砂朋子君	19番	弘中正俊君
20番	大田雄二郎君	21番	佐鹿博敏君
22番	今津誠一君	23番	山下和明君

25番 田中敏靖君
27番 行重延昭君

26番 山本久江君

○欠席議員（1名）

10番 河杉憲二君

○説明のため出席した者

市長	松浦正人君	副市長	中村隆君
会計管理者	古谷友二君	財務部長	本廣繁君
総務部長	阿川雅夫君	総務課長	原田知昭君
生活環境部長	柳博之君	産業振興部長	梅田尚君
土木都市建設部長	阿部裕明君	土木都市建設部理事	安田憲生君
健康福祉部長	田中進君	教育長	杉山一茂君
教育部長	山邊勇君	水道事業管理者	浅田道生君
水道局次長	岡本幸生君	消防長	秋山信隆君
監査委員	和田康夫君	入札検査室長	権代眞明君
農業委員会事務局長	村田信行君	選挙管理委員会事務局長	高橋光之君
監査委員事務局長	小野寺光雄君		

○事務局職員出席者

議会事務局長 森重豊君 議会事務局次長 山本森優君

午前10時 開議

○議長（行重 延昭君） 定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

会議録署名議員の指名

○議長（行重 延昭君） 本日の会議録署名議員を御指名申し上げます。

19番、弘中議員、20番、大田議員、御兩名にお願い申し上げます。

議事日程につきましては、お手元に配付しております日程に基づいて進行したいと思いますので、よろしく御協力のほど、お願い申し上げます。

○議長（行重 延昭君） 昨年12月31日の伊藤議員の辞職により、観光振興対策調査

特別委員会委員長が欠員となり、昨日1月18日に開催されました同委員会において、新しい委員長に重川議員が互選されましたので御報告申し上げます。

議案第1号防府市議会の議員の定数を定める条例中改正について

請願第1号議員定数の削減を行わないよう求める請願書

請願第2号市民生活第一の市政を求める請願書

(以上議員定数に関する特別委員会委員長中間報告)

議員定数に関する特別委員会の閉会中の継続審査について

○議長(行重 延昭君) 議案第1号、請願第1号、請願第2号の3議案及び議員定数に関する特別委員会の閉会中の継続審査についてを一括議題といたします。

議案第1号、請願第1号及び請願第2号は、議員定数に関する特別委員会に付託されておりましたので、特別委員長の間接報告を求めます。久保特別委員長。

[議員定数に関する特別委員長 久保 玄爾君 登壇]

○11番(久保 玄爾君) さきの本会議におきまして、議員定数に関する特別委員会に付託となりました議案第1号防府市議会の議員の定数を定める条例中改正について、請願第1号議員定数の削減を行わないよう求める請願書、請願第2号市民生活第一の市政を求める請願書につきまして、去る1月14日、委員会を開催し、審査いたしましたので、その経緯と結果について御報告申し上げます。

議案第1号の提案理由については、「本案は、地方自治法第74条第1項の規定に基づき、条例改正の請求を受けたことから、同条第3項の規定に基づき、提案された条例案及び意見をつけて提案するものでございます」との説明がありました。

審査の過程における質疑等の主なものを申し上げますと、「市長選挙の公約に、議員定数半減とあるが、今回、17名となると実現が不可能となるが、その点、市長はどのように考えているのか」との質疑に対して、「議員定数半減につきましては、9月議会までにおいて、市議会で一応の結論を示されたと考えておりますが、このたびは、この結論に対して市民の皆様方の意思として、17人への改正を求められたものでございます。市長御自身の考えはわかりません」との答弁がございました。

また、「昨日、代表者の方は、署名は市民の民意であり、市民は自分の意思を持って署名されたと言われていたが、自分の意思を持って署名しなかったという市民もたくさんいる。署名をしなかった人については、民意として受け取らないのか」との質疑に対し、「行政として、署名されない人の民意について、言及する立場にはないと考えます」との答弁がございました。

また、「市長の意見書に、民意として真摯に受けとめなければならないということがありますので、また当委員会に市長を招いてお尋ねしたい」との御意見がございました。

請願第1号及び請願第2号については、「紹介議員として、請願の中身を代表者から聞いているのか。あるいは請願者の代表者に直接聞いたほうがよいのか」との質疑に対し、紹介議員から「代表者の方に、直接聞いていただいたほうがよろしいかと思う」との答弁がございました。

また、「紹介議員から請願の説明はあったが、議員定数半減の実現を求める市民の会をはじめ、3者の会の方々の代表者をお招きして本意をお尋ねしてみたい」との御意見がございました。

続いて、「本委員会で審査中の議案第1号、請願第1号、請願第2号については、直接請求の代表者の方、請願の代表者の方、有権者の方、あるいは広く市民の方から意見を聞きたいので、当委員会において説明する機会を設けていただきたい。そのためには、臨時議会の会期内では日程調整が難しいことから、閉会中の継続審査とされることを望みます」との動議が提出されましたので、挙手による採決の結果、賛成多数により閉会中の継続審査と決定した次第でございます。

よろしく御審議のほど、お願いいたします。

○議長（行重 延昭君） ただいまの議員定数に関する特別委員会の報告に対し、一括して質疑を求めます。5番、中林議員。

○5番（中林 堅造君） 5番、中林です。特別委員会に私は所属しておりませんので、質問する機会がないので、委員長に質問させていただけたらと思うんですが、よろしいでしょうか。

○議長（行重 延昭君） ちょっと暫時休憩します。

午前10時 7分 休憩

午前10時 8分 開議

○議長（行重 延昭君） 休憩を閉じて、会議を再開いたします。

5番、中林議員、どうぞ。

○5番（中林 堅造君） ありがとうございます。それでは特別委員会委員長報告並びに特別委員会としての意見をお聞きするというので、よろしゅうございますか。

○議長（行重 延昭君） はい。

○5番（中林 堅造君） はい。2点ほど質問させていただきたいと思います。今回、直接請求を審査することに当たりまして、新たに2つの請願が出され、審議するということ

になりましたが、この特別委員会では、この請願についても民意だということの前提のもとで審査をこれからもなさっていくのかということ。

それからあわせて、この特別委員会にこういった2つの請願が、私にとっては唐突に持ち出されたような気がしておるわけですが、それを一緒に審議することが、今までにこの特別委員会の中に出されたことがあるのかどうかということをごさいます。私は特別委員会に名前を連らねておりませんので、この14日の委員会で、いろいろと質疑があったわけですが、ある委員が、まだわからない点があるので、参考人として阿部さんをお呼びして、いろいろ聞いてみたいというような意見も出されたことをお聞きいたしました。その辺がよくわからないんですが、阿部会長は13日に、ここの壇上でもって30分にわたりまして直接請求への、入っていくいきさつ、あるいは理由を丁寧に話されました。中学生でもきっと理解できるような、わかりやすい言葉でもって話されたと思っております。

3万5,578人の署名がいかに大変であったか、日付、住所、生年月日、氏名等も自筆でもって、また、印鑑あるいは指印で押された上に、縦覧まで受けたと。この署名の結果について、その数字こそ市民の皆さんの声であり、思いであるということを確認に伝えられたわけですから。そのあたりのことを含めると、2つの請願者の代表に話をお聞きになるということは、私はこれは大事なことだろうと思っておりますから、何ら疑問にはならないわけですが、請願第1号、これは署名活動もなさっておらず、ただお仲間の連名のみであること。そして請願の第2号のほうは、中学生を含めた上での署名活動をなさったということをごさいますので、その署名活動の結果、中学生あるいは高校生は何人だったのかとか、数字がきちっとしたものがあるのであれば、そういったことも含めた中で話をしていただけるのかなという期待もあるわけをごさいます。

継続審議になったわけをごさいますけれども、昨年6月に市長が出された条例改正案が継続審議となって、そして否決という、同じようなこの流れが、これからもこの特別委員会で進んでいくようになるのであれば、私はまだ議員になったばかりをごさいますので、そういったことも私の目には、同じように流れていくのであるようであれば、この防府の市議会というものが、本当に情けないような感じがしておるわけをごさいます。

特別委員長さんは大変経験豊富で、議長も経験なさっておるわけをごさいますので、私としましては要望も含めた上で、特別委員会がそういったことでないように、市民の納得なさるような指導力を見せて進めていただけたらということが、要望として、一つ加えて質問とさせていただきたいと思っております。

○議長（行重 延昭君） 思いでなしに、端的に質疑の部分だけ取り上げさせていただきます

ます。

○5番（中林 堅造君） では、もう一度改めまして。この2つの請願があわせて審査されるということになりましたが、この請願も民意だということの前提で審議をなさっていかれるのか。

それから、この2つの請願に対して、唐突に持ち出されたことで、特別委員会に、こういった請願が持ち出されたことがあるのかどうかということをお教えいただきたいと思えます。

以上でございます。

○議長（行重 延昭君） 久保委員長。

○11番（久保 玄爾君） 第1点の民意かという言い方なのですが、請願は当然民意ですよ。請願の1号と2号を同時に、議案の第1号防府市議会の議員定数を定める条例と一緒に審議するのはどうかということなのですが、請願については、これは議会運営委員会で――議会運営委員会で請願が上がってくるわけですね。紹介議員を通して上がってきますが、そこで扱いをどうするかということで、特別委員会にこの請願書を上げて採択するかどうかを審議してくれと、こういうふうに議会運営委員会で決定したことでありまして、特別委員会の委員長の私がやったわけではありません。

それと、過去に請願を特別委員会で扱ったことがあるかということなのですが、特別委員会はそんなにたくさんありませんので、過去に特別委員会で扱ったことはありませんけれども、委員会で請願を扱ったことはございます。住宅リフォームの件に関しては産業建設委員会で扱って、しかも請願者を参考人としてお願いして、審議したことがございます。

以上です。

○議長（行重 延昭君） 5番、中林議員、よろしゅうございますか。

○5番（中林 堅造君） はい、ありがとうございます。

○議長（行重 延昭君） ほかにございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 議員定数に関する特別委員会委員長から、ただいま委員会において審査中の事件につきましては、会議規則第101条の規定により、お手元に配付しました申し出書のとおり、閉会中の継続審査の申し出があります。

お諮りをいたします。議案第1号、請願第1号及び請願第2号の3議案について、継続審査に賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者 起立〕

○議長（行重 延昭君） 起立多数でございます。よって、議案第1号、請願第1号及び

請願第2号の3議案につきましては、委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査に付することに決定をいたしました。

議案第2号平成22年度防府市一般会計補正予算（第12号）

（各常任委員会委員長報告）

○議長（行重 延昭君） 議案第2号を議題といたします。

本案については、各常任委員会に付託されておりましたので、まず、総務委員長の報告を求めます。三原総務委員長。

〔総務委員長 三原 昭治君 登壇〕

○14番（三原 昭治君） さきの本会議におきまして、各常任委員会に付託となりました議案第2号平成22年度防府市一般会計補正予算（第12号）中、総務委員会所管事項について、去る1月14日、委員会を開催し、審査いたしましたので、その経緯と結果について御報告申し上げます。

審査の過程における質疑等の主なものを申し上げますと、「防災倉庫の整備内容は」との質疑に対し、「約10平方メートルの大きさの基礎をうつ、スチール製の倉庫で、野島と富海は小・中学校合わせて1基、その他は各小・中学校に1基ずつの計26基を設置します。中には、非常食、救急キット、ブルーシート、マット、毛布、仕切り板、扇風機やハンドマイクなどについて備えることを検討しています」との答弁がございました。

これに対し、「倉庫に備えるものは少人数の想定だが、余りにも中途半端ではないか」との質疑に対して、「住民が早急に必要としているものを最低限備えておき、その後、必要とあれば市役所の倉庫から持って行くようにします」との答弁がございました。

また意見・要望として、「現在考えられている倉庫では、備蓄しているものの劣化が予想されるし、耐震化も十分ではないと考える。耐震化した大きな倉庫を1カ所整備するほうが望ましい」というものや、「地域活性化交付金のように、年度途中で国から新たな施策が示されたとき、速やかに対応できるよう、常日ごろから準備しておくように」というものや、「緊急通報システムは、聴覚障害者を対象としたものであるが、視覚障害者からの緊急通報についても的確に対処できるようにしてほしい」というものがございました。

審査を尽くしましたところで、本案の承認についてお諮りしましたところ、「今回の防災倉庫の整備は耐震化しないことや、防災用施設備品の配備が公民館を主としたものではないので承認しがたい」との反対の意見がございましたので、挙手による採決の結果、賛成多数により原案のとおり承認した次第でございます。

以上、御報告申し上げますので、よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（行重 延昭君） 次に、教育民生委員長の報告を求めます。弘中教育民生委員長。

〔教育民生委員長 弘中 正俊君 登壇〕

○19番（弘中 正俊君） さきの本会議におきまして、教育民生委員会に付託となりました議案第2号平成22年度防府市一般会計補正予算（第12号）中、教育民生委員会所管事項につきまして、去る1月14日、委員会を開催し、審査いたしましたので、その経緯と結果について御報告申し上げます。

審査の過程における質疑等の主なものを申し上げますと、「老人憩の家のトイレ水洗・洋式化について、15カ所のうち7カ所実施することのことだが、そのほかは、今後、実施する計画はあるのか」との質疑に対して、「今回、7カ所実施することで、すべて完了することになります」との答弁がございました。

また、「トイレ水洗・洋式化に関連して、高齢者の施設で、手すりなどバリアフリー化の工事は組み込まれているのか」との質疑に対して、「バリアフリー化については、今後、検討してまいります」との答弁がございました。

また、「住民生活に光をそそぐ交付金は、DV対策、自殺予防等の弱者対策、自立支援、学校図書館の充実等があるが、検討したのか」との質疑に対し、「DV対策については通常の前算の中でお願いし、自殺予防等の弱者対策については、新たな施策を新年度前算の中で組みたいと考えております。

自立支援については、今回、障害者施設である大平園、愛光園の施設改修をお願いしているところでございます。

学校図書館の充実については、昨年、作成した子ども読書活動推進計画において、重点項目として掲げておりますので、しっかり検討して、計画的に通常の前算の中で確保していきたいと判断したものでございます」との答弁がございました。

また、「弱者対策の愛光園のバリアフリー化は、今回の事業で十分となるのか」との質疑に対し、「渡り廊下のバリアフリー化がまだ残っております」との答弁がございました。これに対し、「バリアフリー化については、知的障害に加え、高齢者の方もおりますので、早急に進めていただきたい」との要望がございました。

審査を尽くしたところで、お諮りいたしましたところ、全員異議なく原案のとおり承認した次第でございます。よろしく御審議のほど、お願いいたします。

○議長（行重 延昭君） 次に、産業建設委員長の報告を求めます。久保産業建設委員長。

〔産業建設委員長 久保 玄爾君 登壇〕

○11番（久保 玄爾君） ただいま議題となっております議案第2号平成22年度防府市一般会計補正予算（第12号）中、産業建設委員会の所管事項につきまして、去る1月

14日、委員会を開催し、審査いたしましたので、その経緯と結果について御報告申し上げます。

審査の過程における質疑等の主なものを申し上げますと、「住宅リフォーム助成事業の平成23年度以降の実施について、本会議の答弁において、平成23年度の結果を検証して決めたいとのことだったが、どのように検証するのか」との質疑に対し、「財政的な面もありますが、平成23年度の事業実績等を検証した上で、次年度以降の対応につきまして検討してまいりたいと考えております」との答弁がございました。

また、「助成金を商品券で交付する理由は、お金が市内に循環することが趣旨とのことである。しかしながら、過去のプレミアム商品券の例を見ても、ほとんどが大型店舗で使用され、地元の小さい商店では余り使われていなかったと聞いている。本社が他県にある大型店舗での使用は、本当に市内循環経済になるのか疑問がある。そういう意味でも、現金で交付したほうが地域に還元できるのではないか」との質疑に対し、「確かにプレミアム商品券はほとんどが総合スーパー等で使用されました。しかしながら、その後の商工会議所の事業検証アンケートでは、「売りに貢献した」と回答した事業者が半数以上を占めたと聞いております。今回の商品券につきましても、消費の下支え効果につながると考えています」との答弁がございました。

これに対し、「市民に喜ばれる制度になるためには、これから実施していく中で、市民の声を取り入れて、改良すべきところは改良してほしい」との要望がございました。

審査を尽くしたところでお諮りいたしましたところ、全員異議なく、原案のとおり承認した次第でございます。

以上、御報告申し上げますので、よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（行重 延昭君） ただいまの各常任委員長の報告に対し、一括して質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 質疑を終結して、一括して討論を求めます。2番、土井議員。

○2番（土井 章君） ただいま議題となっております議案第2号平成22年度防府市一般会計補正予算（第12号）に反対の立場から討論をいたします。

まず、この予算は国の補正予算に盛り込まれました地域活性化交付金を活用したものとなっております。このうち、きめ細やかな交付金事業で6事業、住民生活に光をそそぐ交付金で2事業が計上されております。

内容を拝見いたしますと、まず老人憩の家や富海保育園、愛光園、大平園などの補修経費に約6,000万円が充てられております。これらの経費は国庫補助交付金のあるなし

にかかわらず、家主として実施すべき事業であるというふうに考えます。

また、住民生活に光をそそぐ交付金は、先ほど委員長報告にもありましたとおり、地方消費者行政、DV対策、自殺予防等の弱者対策、学校図書館の充実等、知の地域づくりに対する取り組みを支援すると定義づけられておりますが、残念ながら、これに該当する事業は見当たらないのでございます。

次に、すべての小・中学校に防災倉庫を整備する経費であります。この倉庫は金属製の既製品で、一般家庭でよく見かける簡易なもので、10平米弱の小さな倉庫でございます。収納品はブルーシート10枚、扇風機2台、救急セット、ハンドマイク、非常食などなどのようでございます。

そこで問題点の一つは、平成21年度の豪雨災害でも避難場所として開設された学校は12校のようでございます。なぜ、牟礼小学校、牟礼南小学校のような至近距離にある学校を含めて、すべての学校に設置しなければならないのか、理由がわかりません。

2つ目は、全校一斉に避難場所となるような場合は、大規模地震時ぐらいと考えられるのであります。だとすると、このようなごく少量のストックではとても用をなすわけではございません。また、倉庫は簡易なものです。保管物の劣化等も十分考えられます。こういうことを考えますと私は、地震にも耐えうる頑丈な倉庫をつくり、一括保管をし、必要なときに、必要な量を必要な場所に運ぶほうが経済的であり、かつ効果的であると考えてるのでございます。

一方、市民の方が喜ばれるであろう事業といたしましては、住宅リフォーム助成事業が計上されておりますが、手続を含め、なぜ商工会議所に丸投げしなければならないのか、理解に苦しみます。

また、聴覚障害者対策としての緊急通報システムも大変結構でございますが、パニック時にもっと困られるであろう視覚障害者対策が全くなされていないのであります。弱者対策として不公平と言わざるを得ません。

以上のようなことから、この交付金事業は全額繰越も可能なようでございますので、事業の進め方などを含め再考すべきであるというふうに考え、現時点では反対をいたします。

○議長（行重 延昭君） 12番、田中健次議員。

○12番（田中 健次君） この議案第2号については、私は賛成の立場で討論いたしますが、ただ、地域活性化交付金、この中のきめ細かな交付金については、地域の活性化ニーズに対応した事業である。

それから、もう一つの住民生活に光をそそぐ交付金については、以下の分野に対する取り組みという形で、地方消費者行政、2としてDV対策、自殺予防等の弱者対策、自立支

援、3として知の地域づくり、こういった分野に取り組む事業というふうになっております。ところが、積み残しとなっておりますような維持補修がかなりあり、適切な使い方ではないというふうに考えております。

委員会の審議の中で、「自殺予防などについては新年度予算の中で対処する」こういうような御回答がありましたので、賛成はいたしますけれども、昨年10月26日、片山総務大臣の記者会見では、「それぞれの自治体で創意工夫と、できれば見識をつけ加えて活用していただきたい」、こういうふうに閣議後の記者会見で片山総務大臣が言っておるわけですが、そういうことであれば、見識のない補正予算だというふうに考えておる、こういうふうに意見を申し上げておきたいと思っております。

以上です。

○議長（行重 延昭君） 討論を終結してお諮りいたします。本案につきましては、反対の意見もありますので、起立による採決といたします。議案第2号について、これを可決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者 起立〕

○議長（行重 延昭君） 起立多数でございます。よって、議案第2号については原案のとおり可決されました。

許可第1号防府市議会議員の辞職について（追加）

○議長（行重 延昭君） 原田議員から辞職願が提出されております。

お諮りをいたします。この際、原田議員辞職の件を日程に追加し、議題とすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 御異議ないものと認めます。よって、この際、原田議員辞職の件を日程に追加し、議題といたします。

本件については一身上に関する事柄でありますので、原田議員の一時退席を求めます。

〔4番 原田 洋介君 退席〕

○議長（行重 延昭君） まず、辞職願を局長より朗読いたさせます。局長。

○議会事務局長（森重 豊君） それでは、朗読いたします。

辞職願

今般、一身上の都合により、平成23年1月31日をもって辞職したいので、許可されるようお願いいたします。

平成23年1月19日

防府市議会議長 行重延昭様

以上でございます。

○議長（行重 延昭君） お諮りいたします。本件については、これを許可することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（行重 延昭君） 御異議ないものと認めます。よって、原田議員の辞職を許可することに決しました。原田議員、どうぞ。

あいさつ

○議長（行重 延昭君） ここで原田議員より、あいさつしたい旨の申し出がありますので、これを許します。原田議員、どうぞ。

〔4番 原田 洋介君 登壇〕

○4番（原田 洋介君） 大変高いところから失礼いたします。このたびは私の一身上の都合による辞意を認めていただき、ありがとうございました。

これまで議員として、この立場をいただき、10数年間、本当に皆様に支えていただきまして、議員活動を続けてくることができました。ですが、このたび、また違う立場から、このふるさとの防府市のために尽力していきたいという思いで、今回、この市議会議員の職を辞することを決意した次第でございます。

これまで支えていただきました、そして、いろいろと議論を交わしました同僚議員の皆様、本当にお世話になり、ありがとうございました。そして、松浦市長はじめ執行部の皆様方、本当にいろいろとお世話になり、ありがとうございました。そして、歴代議会事務局職員の皆様には、本当にいろいろと御迷惑をおかけいたしました。支えていただきまして、ありがとうございました。この場をおかりして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

まだまだ防府市には解決しなければならない課題というものがたくさんあると思っております。これからも違う立場として、そのために一生懸命頑張ってまいります所存でございます。

最後になりますが、ここにいらっしゃる皆様方の今後ますますの御健勝、そして御活躍、そして防府市並びに防府市議会の限りない発展を御祈念申し上げ、大変高いところからはございますが、ごあいさつをさせていただきます。本当にお世話になりました。ありがとうございました。（拍手）

○議長（行重 延昭君） 以上で、今期定例会に付議されました案件はすべて議了いたしました。これもちまして、平成23年第1回防府市議会臨時会を閉会いたします。長時間にわたり、慎重な御審議をいただきまして、ありがとうございました。

午前10時38分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

平成23年1月19日

防府市議会議長 行 重 延 昭

防府市議会議員 弘 中 正 俊

防府市議会議員 大 田 雄二郎

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

平成23年1月19日

防府市議会議長

防府市議会議員

防府市議会議員